

○ 取り組み宣言（あいことば）

持続可能な未来に向けた環境配慮行動

○ 重点環境活動①【環境配慮行動意識の高い子どもたちの育成】

「清掃ボランティア」

今年度、新型コロナウイルスへの感染対策の観点から、例年のようなボランティア活動を行うことが難しい状況ではありましたが、ボランティアを行い、地域に貢献したいという生徒は多く、小・中での継続的な教育活動の成果が出ていると感じました。

生徒会活動では、厚生委員会が呼びかけを行って参加者を募集します。ボランティアを通じて勤労奉仕の楽しさを学び、地域の人たちとふれあい、様々な人と協力することで新たな人間関係を形成し、他人を思いやる心を育んでもらいたいと考えています。

○ 重点環境活動②【温室効果ガスの削減】

太陽光発電システムを活用し、太陽光で発電した電気を施設管理部と連携しながら、エアコンの使用規定などを定め、日々節電に心がけていました。

○ 独自の環境活動

学校内の花壇などで、ひまわりを植えて育てました。このひまわりの種は阪神淡路大震災、中越地震、東日本大震災と希望のリレーとして受け継がれてきたものです。咲いた後にボランティア生徒と教職員が協力をして、種を回収して次年度に引き継ぎ、また栽培をします。これらの活動を通して関わった生徒たちにボランティアの精神を育んでいきたいと考えています。

また、特定外来植物と指定されている「ナガミヒナゲシ」「オオキンケイギク」の除草を行いました。除草の際は、外来種の生態系への影響などを話し、考えを深めています。



「ナガミヒナゲシ」



「オオキンケイギク」

※市のホームページでも指定されている。外来植物です。  
学校の周りにも群生していたので、除草しました。



希望のリレーとして受け継がれてきたひまわりの種が、今年も学校の敷地内で花を咲かせました。

## ○ 取り組み宣言（あいことば）

環境と共に生きるエコライフ

## ○ 重点環境活動①【 子供たちの環境配慮行動意識の向上 】

○ ESD を通じた環境問題について調べ学習を行い、班ごとに発表会を実施する。

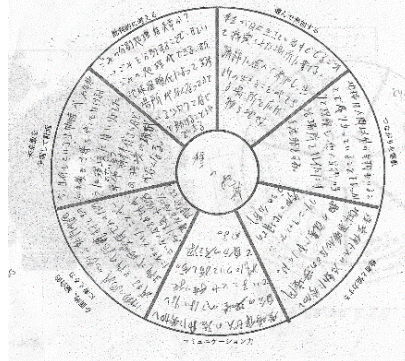
今年度は4・5月の一斉休校の影響で、授業時数の確保が例年以上に困難であったことから、十分な調べ学習を実施することが難しかった。そこで今年度は、環境問題に対して、ESDの観点を踏まえ、自分たちができる取り組みをソーシャルディスタンスを意識した少人数班で話し合い、プリントにまとめた。当初はポスターセッション形式で発表会を実施する予定であったが、密を避けるため、少人数グループごとに決められた順番で他班のプリントを見て回り、知の共有を図った。



ESD説明プリント



話し合い活動



生徒が記入したプリント



知の共有活動

## ○ 重点環境活動②【 家庭・地域への環境配慮行動の波及 】

○ 生徒会資源回収

例年は、アルミ缶は重さの10倍、牛乳パックは重さの2倍、新聞紙はそのままの重さで計量をし、クラス毎に総重量で競っていたが、今年度は感染対策のため、直接口をつけるアルミ缶回収を実施しなかった。一番重量を稼げるアルミ缶回収を実施しないことにより、資源回収に対する意欲低下が懸念されるため、突破賞や最重量賞などの賞の基準を、生徒会本部を中心に中央委員会で再検討した。自分たちで新たに決めた基準ということもあり、リーダーを中心に積極的に学級で呼びかけ、計3回の資源回収でほぼ全クラスが突破賞を受賞する等、リーダーを中心に自分たちで盛り上げながら資源回収に取り組んでいた。また、今年度は、資源回収実施にフォーカスを当てたため環境とのつながりを意識させる活動ができなかったことが検討課題である。

## ○ 独自の環境活動

○ 当日の電気使用量の呼びかけ

職員室前のモニターに1日の電気使用量が映し出されており、毎日、昼食時の放送で電気使用量のアナウンスと昨年に比べて使用量が多いか少ないかを伝えた。放送を聞き終わった後、kWhなど理科で学習した内容を思い出している様子であった。また、気温と電力量の関係について雑談している生徒がでるなど、昼の電気使用量の放送を通して節電意識の向上に役立っているように感じる。



## 令和2年度 エコキッズはだの 環境活動レポート

〔園校名〕 秦野市立 南中学校

### ○ 取り組み宣言（あいことば）

大切にしよう、資源！地球に還元しよう、エネルギーを！！  
自然との関わりを大切に、環境に優しい学校づくりを目指します！

### ○ 重点環境活動①【 環境に配慮する意識の高い子どもたちの育成 】

～省エネ・省資源・リサイクル活動の実践に向けての

ポスターの作成、教室掲示ならびに伝達～

生徒会美化委員は、毎月、省エネ、省資源、美化活動の推進のため、ポスターを作って教室に掲示し、クラスへの呼びかけを行っている。また、自分たちの作ったポスターであるため、率先してそれらの活動を行い、クラスへのはたらきかけを行っている。



### ○ 重点環境活動②【 温室効果ガスの削減 】

～クラス毎にリサイクル紙回収 box の設置と回収推進～

こちらも美化委員が、クラスにリサイクル紙回収 box を設置し、古紙を再利用するよう呼びかけている。毎月の委員会時に裏面を利用できる古紙と両面印刷されている古紙とに分別して3Rに取り組んでいる。

### ○ 【 環境に配慮する意識の高い子どもたちの育成 】

節水、節電を呼びかけるための標語を美化委員会の生徒が作り、蛇口、照明スイッチ付近に設置。生徒が触れる身近な場所に掲示をするので、意識して取り組むことができていた。コロナ禍の今年度は冷房や暖房をしながら換気をしなければならなかったため、できないこともあった。

### ○ 【 温室効果ガスの削減 】

家庭科では例年、エコクッキングの授業を秦野ガスの協力を得て行っているが、今年は調理実習が行えなかったため、授業で話をすることにとどめた。材料の廃棄率を小さくする調理を学んだり、材料を小さく切ることによって加熱時間を短くできることを学んだりしている。

衣に関する授業の中では、購入時に着目すべき点、手入れ時の注意点、衣類の処分時の応用等を学ぶ中で、環境に配慮することについても学んだ。

理科、社会科ではSDGsについて説明し、資源を枯渇させないためにできること、環境に優しいエネルギー等、持続可能な社会の実現に向けての授業を行った。

### ○ 【 環境に配慮する行動の家庭・地域への波及 】

南中学校では、生徒会体育委員、文化委員が中心となって資源回収を行い、ここ数年はその収益を学校祭体育部門に充てていた。そのため生徒の関心も高く、家庭の協力を得て活動を行っていた。また、地域(中学生のいない世帯)の協力も大きい取り組みであったが、コロナ禍の今年度は実施を見合わせた。

## 令和2年度 エコキッズはだの 環境活動レポート

〔園校名〕 秦野市立 北中学校

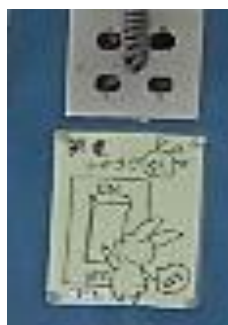
### ○ 取り組み宣言（あいことば）

できることから1つずつ！できることを増やしていく！

### ○ 重点環境活動①

【子どもたちの環境配慮行動意識の向上】

今年度は、コロナ禍で例年行われていた行事や取り組みが中止され、委員会等で実施できたものが限られてしまいました。その中で平成30年度より実施されています幼少中で連携して行ってきた燃えるゴミ・プラスチック・資源などのゴミの分別は委員会活動の一環として引き続き行ってきました。表示もそのまま教室に提示しわかるようにしています。今年度は、プラスチックの回収は中止しています。来年度は、今年度できなかったものについてはもう少し積極的に取り組んでいきたいと思ひます。



### ○ 重点環境活動②【 温室効果ガスの削減 】

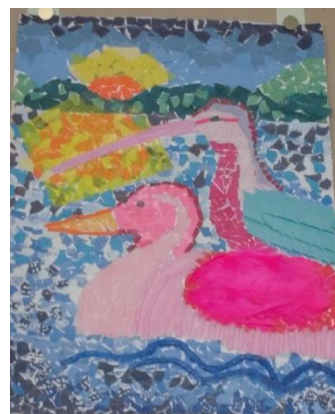
節電、節水、紙の節約については、引き続き委員会で行うことができました。例年ポスターで節電や節水を呼び掛けていましたが、今年は左の写真のように節電用のステッカーも作成し、教室だけでなくトイレや廊下等にも掲示し、意識の向上を図るため、呼び掛けや注意を喚起しています。

残念なことには今年、北中としての一大イベントである学校祭が中止になってしまったため例年行ってきました各ブロックによる資源回収やリサイクルカップの回収ができませんでした。来年度は行事等が開催され、生徒主催での積極的な取り組みを期待したいと思ひます。

### ○ 独自の環境活動 【エコはり絵】

毎年、1年生の美術科の授業の一環として、身近な資源を再利用するよう意識を高めるため、廃棄してしまいそうなものや、家の机の引き出しや押し入れの中に眠っているものを見つけ出し、それを作品として再び蘇らせようと制作しています。ジャンクアートのようになりがちですが、平面ということで小作品にまとめました。

右の作品は昨年度のものですが、今年度は先輩たちの作品を参考に、イメージを膨らませどのような材料を使用し、効果的な表現ができるか試行錯誤しながら制作しています。現在の課題は発想力が乏しくどのようなものを使用したらよいかわからない生徒や、材料を持ってこないでなかなか制作出来ない生徒がいることです。今後は材料を収集する段階から意識を高め、限りある資源の再活用や、SDGsに関心を持ち意欲的に取り組めるようにしていけたらと思ひます。





○ 取り組み宣言（あいことば）

大根スマイルプロジェクト～みんなで作ろうエコライフ～

○ 重点環境活動①【子どもたちの環境配慮意識の向上】

『EM菌を用いたプールの浄化』

今年で4年目となり、生徒会本部を中心に浸透してきた活動である。しかし、今年度はコロナウイルス感染防止のため、米のとぎ汁の回収及び、保健体育科の水泳の授業がなかったためプールの清掃が実施できなかった。

例年では、EM菌を米のとぎ汁を使ってタンクで培養し、プールに散布することで、ヘドロを分解して汚れを付きにくくすることができる。今年度は教員がEM菌の培養を行い、散布のみを行った。来年度は、可能な範囲で生徒の活動を行う予定です。



※写真は昨年度のもの

○ 重点環境活動②【温室効果ガスの削減】

『節電意識の向上に向けた呼びかけ』

節電の呼びかけとして、教室の電気をこまめに消す。冬の時期だと暖房を使用するため、きちんと扉を閉めるなどの当たり前のことができているかを呼びかける掲示物を作成した。教室に掲示しておくことで、学年委員だけでなく、同じクラスの仲間同士で意識し、互いに声を掛け合うなどの姿を見ることができた。



○ 独自の環境活動

『緑のカーテン』

室内の温度が上がらないように、エアコンのない生徒会室前にゴーヤを育て、緑のカーテンを作った。また、支援級でも調理室前に緑のカーテンを作った。昨年度の反省を生かし、種から育てたものと、苗から育てたものの2つに分けた。植える作業に関しては休校期間中に伴い、教員側で行ったが、水やりや収穫などは生徒が担当を決め、行っていた。どちらも青々と大きく育ち、直射日光を遮ることができた。大きく育ったのはいいが、多くの実がなり害虫や鳥が集まってしまったこと、腐らせてしまうなどの反省が挙げられた。来年度はアサガオなどの葉が大きく育ち、種の収穫のみで済むようなものはないか検討している。



○ 取り組み宣言（あいことば）

# Save The Earth ～みんなのチカラで～

○ 重点環境活動①【 温室効果ガスの削減 】

室内の温度をエコ基準（夏 28℃、冬 20℃）に設定し、使用を最低限にする試みを今年度も行った。本年度は、コロナ禍での換気の面から、空調をより効率的に使用することを意識して生活した。



温度の他にもこまめな節電を意識し、各クラス系の生徒が移動教室の際に電気を消してから移動する様子が見られた。

○ 重点環境活動②【 環境配慮行動意識の高い子どもたちの育成 】

昨年同様にエコキャップの回収をおこなった。本年度は呼びかけの機会が少なかったのだが、生徒自ら家庭から持ち寄り、昇降口にある回収箱へと入れる姿がみられた。回収箱には、「〇個で何人分のワクチンが提供できる」という目安を記載し、より意識を高めることによって、多くのペットボトルキャップを回収することができた。



○ 独自の環境活動

本校では、翔丘祭においてリサイクルの推進・資源回収をおこなった。翔丘祭文化・体育委員長と各学年協議委員会が朝の登校時間に呼びかけを行い、資源回収を行った。全員が参加できるように、委員をはじめとした生徒が期間前・期間中に呼びかけを行い、生徒同士で意識を高めあった。

参加率はクラスごとに集計し、参加率 100%を達成したクラス、ブロックについては、表彰を行った。

また、本校の2、3年生では、2学期後半の総合的な学習の時間に、自分で課題を設定して、研究し発表する「課題追及学習」を行っている。様々なテーマの中でも、環境に関する課題を設定している生徒も多かった。

○ 取り組み宣言（あいことば）

5つ星エコを渋沢に！

○ 重点環境活動①【 節電推進運動～空調機器等の使い方 】

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、その防止の観点から換気を行うことに力を入れた。そのため、空調で室温の調整を行いながら、休み時間には窓を開けて空気を入れ替えた。その影響で消費電力が大きくなることが予想されたため、環境委員の生徒を中心に節電を呼びかける「節電マーク」を校内にある電灯のスイッチに貼り付けたり、電力を使いすぎているときは校内放送で呼びかけを行ったりするなどして節電を意識的に行うように努めた。

○ 重点環境活動②【 環境配慮行動意識の高い子どもの育成 】

本校では各教科の中で環境問題に関する教材を扱い、生徒に自分たちの生活や世界で起きていることを考えさせる活動を通し、環境について配慮し行動する意識を高めるように努めた。

- 2年生の保健体育科の授業では、ゴミ処理や下水道処理についての学習をし、普段自分たちが出しているゴミや排水がどのようにして処理され、再利用されているかなどを学んだ。
- 2年生の英語科の授業では、教科書の学習内容から小笠原諸島の自然を守る取り組みについて触れ、その他のオーストラリアなどの国の自然環境にも意識を向けられるようにした。また、道徳ではそれらに関連し、日本とその他の国の「フードロス問題」について学習をし、自分たちが知らないところで起きている問題に注目するきっかけになった。
- 美術科の授業では、1・2年生が夏休みの課題として「環境に関するポスター」を制作した。A4サイズの小さいポスターを作り、代表生徒の作品を校内の様々な場所に展示することで、それを見た生徒が環境問題について意識できるようにした。

○ 独自の環境活動

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、例年通りの人との交流が多い活動は制限されたが、その中でできることは継続して行った。

- PTAの役員の方々と協力し、書き損じはがきの回収や、アルミ缶回収などを行った。
- 学期末には職員が各教室資源回収を行った。



○ 取り組み宣言（あいことば）

できることから始めよう！ ～ エコ活動とエコライフ ～

○ 重点環境活動① 【子どもたちの環境に配慮した意識の向上】

● 校内及び地域の緑化の推進

- ・ 校内：緑化活動として福祉厚生委員の生徒を中心にプランターに花を植え、草花で校内の雰囲気をよくする活動を行った。また、特別支援級の生徒と協力し、緑のカーテンでゴーヤを育てたり、校内の畑で野菜を育てたりしながら、環境意識の向上を図った。

他にも地域の方々に協力を仰ぎ、毎週生け花を廊下や階段の角やトイレなどに飾っていただくなど、日頃から草花に親しむ空間を設置した。

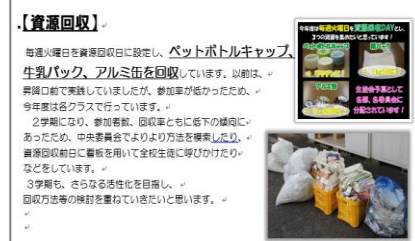


○ 重点環境活動② 【温室効果ガスの削減】

● ごみの分別・資源回収の強化

「分別回収の強化」に関わる「広報活動」などを行った。

- ・ 保健環境委員では、普段から燃えるごみ・プラスチックなどのごみの分別回収を進めている。また、普段から紙資源の回収を行い、毎月定例の委員会活動時に裏が使える用紙を選び分け、生徒会をはじめ各委員会などで再利用している。



- ・ 生徒会本部役員が中心となって、毎週火曜日に実施していた資源回収だが、今年度はコロナ禍における感染拡大防止の観点から、行うことができなかった。

○ 独自の環境活動 【教科などの学習を通して】

- ・ 美術科では、1学年の課題で流木の形から発想し、粘土を付け足すことで海洋生物を作る課題を通して、強く環境を意識するきっかけとした。身近な素材やごみなどの形を組み合わせることを通して海洋生物の形を連想するが、その際、プラスチックごみなどの海洋汚染の問題もからめて考えさせることができた。



【リサイクル活動】

- ・ 卒業生から不要になった上履きやジャージを提供してもらい、忘れた生徒への貸し出し品とした。またPTA活動として、家庭用のプリンターの使用済みインクカートリッジの回収を行い、資源の有効活用と廃棄物の軽減を呼びかけた。





## ○ 取り組み宣言（あいことば）

一人ひとりが変えていく 小さなエコが大きなエコに

## ○ 重点環境活動①【温室効果ガスの削減】

●西中では例年通り、委員会とは別に学年係活動が行われ、それぞれの学年の健康・環境系の生徒たちが環境についてのポスターを作成したり、呼びかけを行ったりしてきました。そのため、委員会の少数の生徒だけでなく、クラス、学年の多くの生徒が意識することで西中全体の意識が高まってきました。今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、窓を開けて換気をしながら冷暖房を使用したため、例年通りに「節水・節電」することは難しかったのですが、移動教室の際に教室の電気を消すことを徹底するなどの行動はできました。

●わかば級で取り組んだゴーヤのグリーンカーテンは、今年の夏も青々とした葉が一階の教室の窓いっぱいになり、真夏でも爽やかな風がとても心地よく、好評でした。

## ○ 重点環境活動②【環境配慮行動意識の高い子供たちの育成】

今年度は残念ながら、生徒会福祉委員会のエコキャップ回収、環境委員会の資源回収は行うことができませんでした。



## ○ 独自の環境活動

① ごみゼロクリーンキャンペーン、四十八瀬川清掃  
これらの活動も今年度は実施されませんでした。



② PTSCA ボランティア、PTA 資源回収

第1回 PTSCA ボランティアは8月22日に、教職員30名、保護者49名、地域ボランティア12名、生徒62名が参加して行われました。地域の方と共に、西中の敷地の草むしりや昇降口の清掃をし、自分たちが生活していく環境を自分たちで整えることができました。第2回は12月に予定していましたが、中止になりました。PTA 資源回収は7月18日、1月9日に、生徒は参加せず、教職員と保護者のみで行われました。

③ リサイクルボックス

2学期の途中からでしたが、リサイクルボックスを全クラスに設置し、不要になったプリント類を資源にする活動を行いました。どのクラスも1か月経つとかなりの量が集まり、リサイクルの意識の高さが感じられました。

④ その他

年度初めには計画していませんでしたが、わかば級で落ち葉を集めて腐葉土を作るための「コンポスト」を作りました。また、2年生の家庭科では1月末に「環境川柳」を皆で考えます。新型コロナウイルス感染防止のため、できなかったことも多いですが、この状況下でも工夫を凝らした活動を行うことができたと思います。

